

事後評価説明資料 東町西町線 街路整備事業

平成21年3月

県土づくり本部 まちづくり推進課

都市計画道路 東町西町線 街路整備事業概要



事業概要

事業箇所：東町西町線

事業期間：H 2 ~ H 1 4 年度

事業費：約 3 2 億円

道路拡幅：L = 5 4 2 m

W = 1 6 . 0 m

・唐津市浜玉町の**中心市街地を東西に横断**する道路

・唐津・東松浦地方拠点都市整備アクションプログラムの中で、**交通混雑の解消とともに地区の活性化を促す**路線として位置づけ

整備前の状況

- 幅員が狭く**歩道が無い**道路
- 学生、JR浜崎駅の利用者、その他自動車で**円滑な交通が阻害**され危険



事業の効果

■ 安全の確保

両側歩道の整備により、**歩行者自転車等**の安全を確保

安全な歩道



■ 円滑な交通処理

車道拡幅、右折レーン、停車帯の設置により、**スムーズな交通処理**を実現

スムーズな交通



事業の効果

■ 良好な市街地の形成

- ・電線類地中化による**防災機能強化**
- ・**全ての人**が安心して**通行**できるよう点字ブロックを設置
- ・街路樹、自然石舗装による**景観向上**

■ その他波及効果等

- ・地元との連携による駐車場整備
路上駐車の減少、**安全性**の向上

点字ブロックの設置



地元自治体で整備された駐車場



県民の意見

- 歩道が確保され、歩行者・自転車ともに安全に通行できるようになった。
- 広幅の車道や停車帯の整備により自動車の利用が便利になった。
- 「浜崎祇園祭り」の山笠(高さ約15m)が安全に実施できるようになった。
- 冬場は、街路樹の葉が落ちるので寂しい。

地域住民との関わり

- 地元との調整を図り、電線類の地中化、街路樹の植樹、自然石による歩道舗装等を実施

東町西町線の一部は「浜崎祇園祭り」の山笠ルートとなっており、道路拡幅と相まって祇園祭り時には、**毎年3.5万人の来客**で賑わっている。

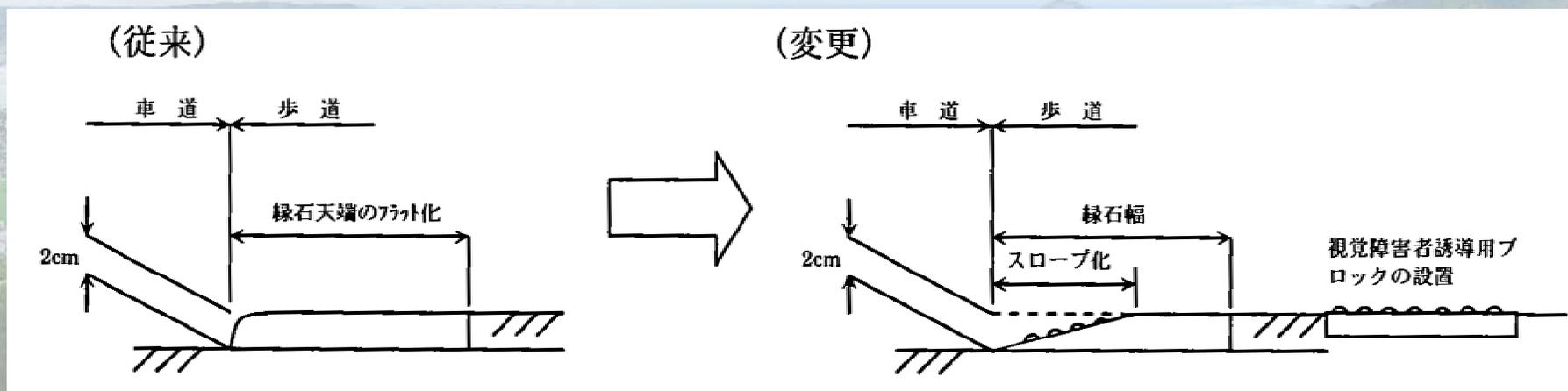
祇園祭りの状況



今後の課題

■ 歩道段差の改善

歩道乗入部に設けた**2cmの段差**が、電動カート等利用者には障害となっているため、段差が無いよう改善する必要がある。



平成18年11月に「歩道の段差解消にかかる標準仕様」(段差のスロープ化)を定め、その後整備する道路については、この仕様に基づき整備している。

新規・再評価への反映

- 地元との合意形成を図り、**地域の文化や生活に配慮し**電線類の地中化、街路灯、街路樹の整備を行っている。
- こういった、地域の文化・生活を重視し地元の方々の意見を踏まえた整備を行うことで、公有財産に対する共有の意識が芽生え、**官民協働での維持管理**が可能ではないかと考える。